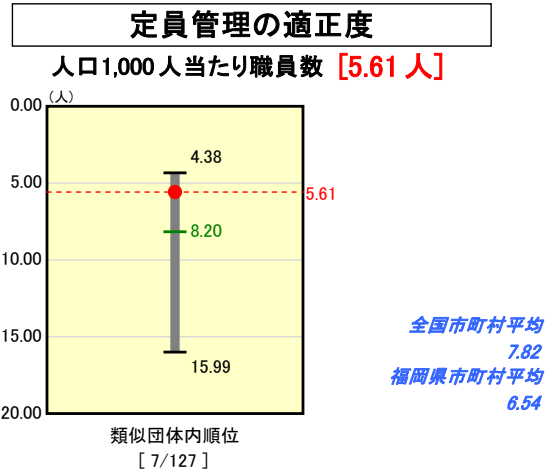
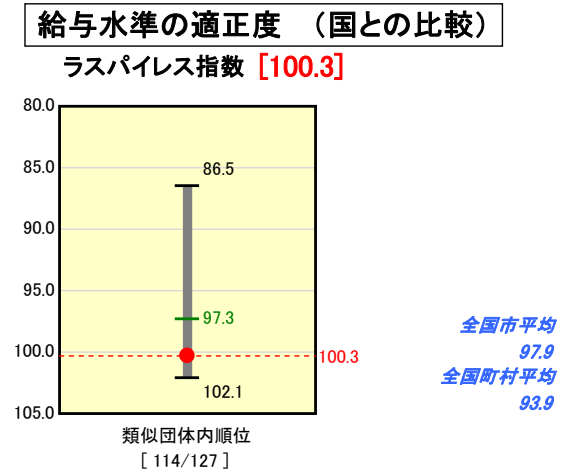
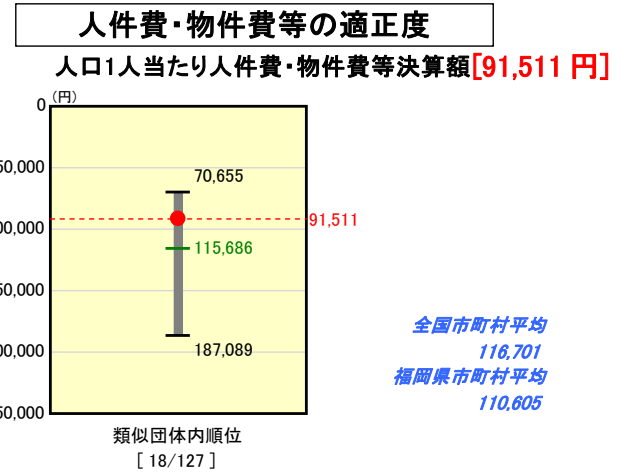
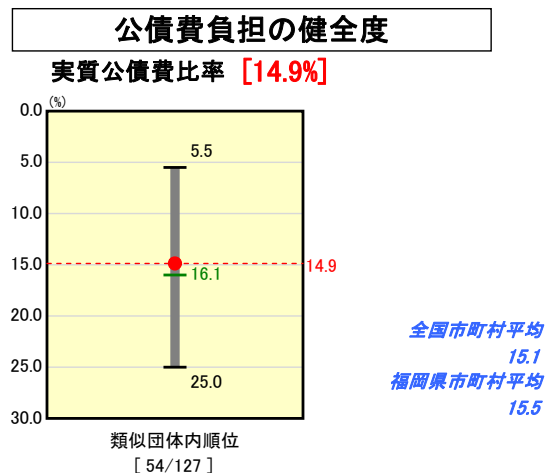
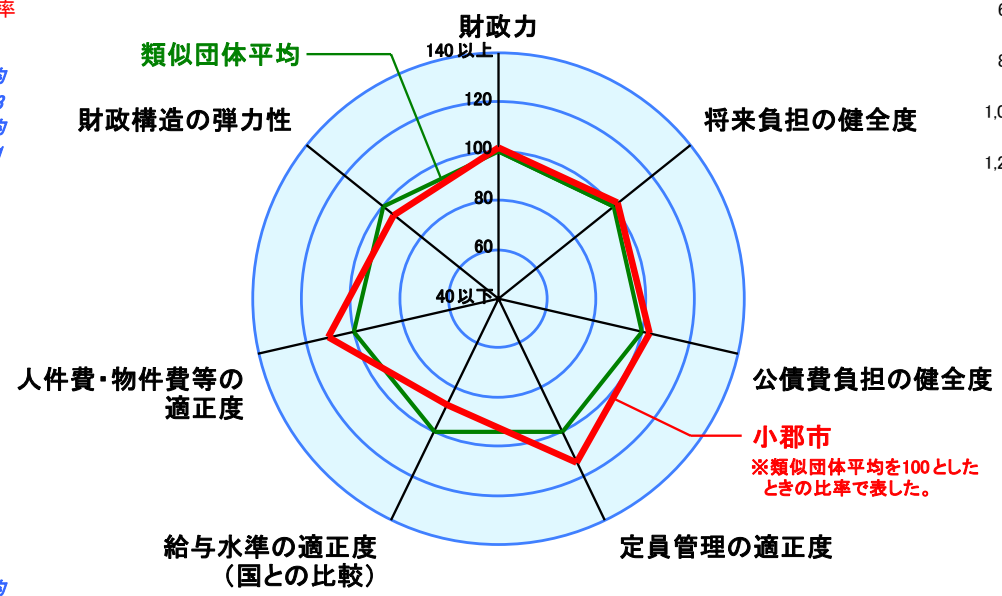
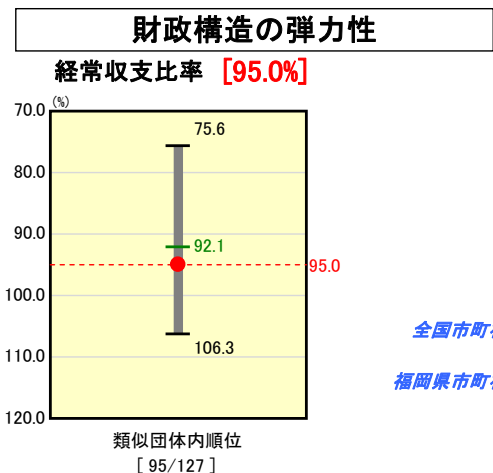
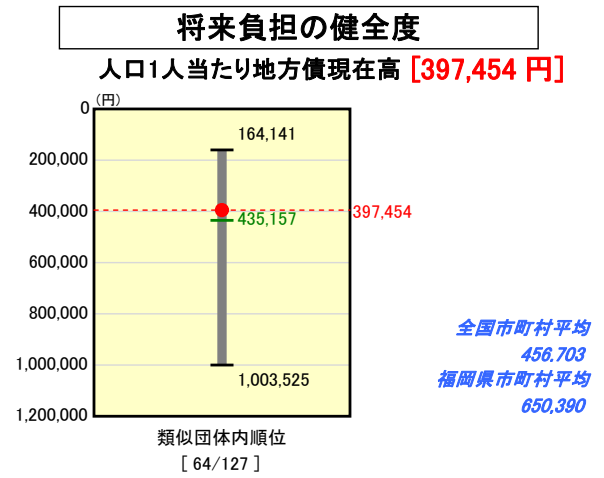
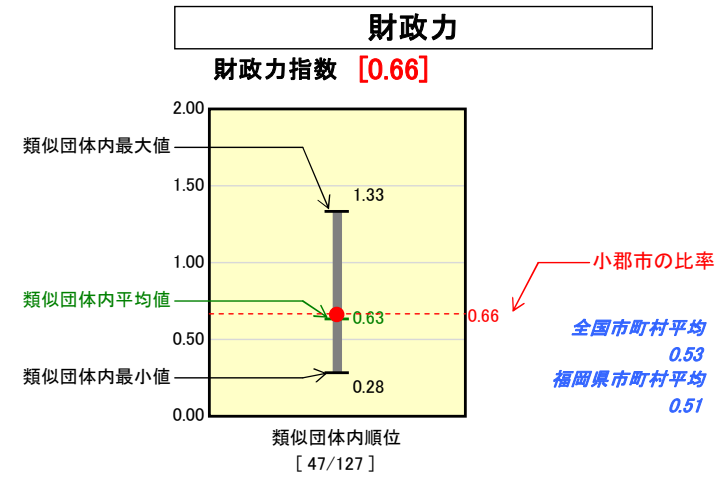


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

福岡県 小郡市

人口	58,612	人(H19.3.31現在)
面積	45.50	km ²
歳入総額	15,446,299	千円
歳出総額	15,287,207	千円
実質収支	149,372	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
ここ数年間で連続して伸びており、0.66となっている。ニュータウン地域における人口増と共に、景気回復や定率減税の見直しなどの税制改正等が主な要因と考えられる。今後は、投資的経費の抑制等、歳出の徹底的な見直しを実施すると共に、企業誘致など新たな財源確保に努め、財政基盤の強化を図る。

経常収支比率
前年度比0.3ポイント減であるが、95.0%と類似団体平均を上回っている。集中改革プランの見直し等により、経常経費等の削減と起債事業の抑制による公債費の適正化を図り、財政構造の弾力性の確保に努める。

ラスパイレース指数
現行の給料表は年功的な体系となっており、類似団体平均を3.0ポイント上回っている。全国的にも高い水準にあるため、類似団体の平均給与の状況を踏まえ、給与の適正化に努める。

人口1人当たり地方債現在高
近年大規模事業がなかったため、類似団体を下回り、減少傾向であるが、今後も起債事業の選別及び見直しを行い、新規地方債の発行の抑制に努める。

実質公債費比率
類似団体を下回るが、総合保健福祉センター建設事業に係る起債の償還等に伴い上昇し、前年度比0.6ポイント増の14.9%である。公債費のピークは平成19年度と見込まれているため、今後とも、緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択により、起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。

人口1,000人当たり職員数
退職者不補充等により、前年度比0.21人の減となっている。定員適正化計画を策定し、「平成18年度から平成21年度までの4年間で職員数10%削減」を行っているところである。